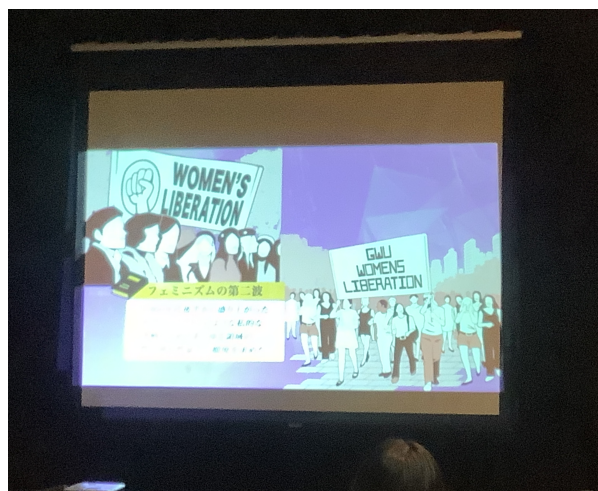
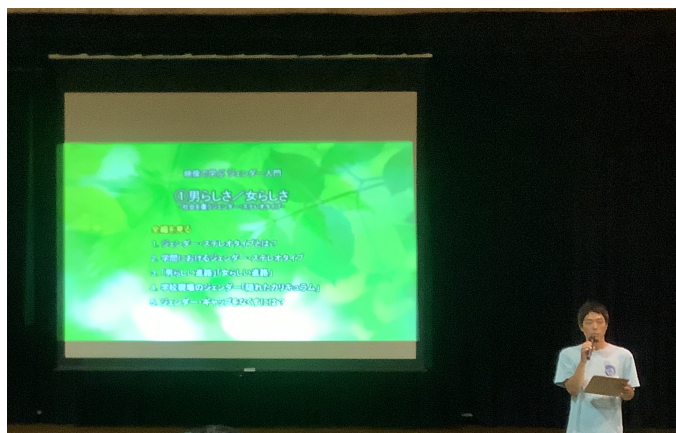


「人権研修」を行いました。

令和5年8月31日（木） 全体研修

「映像で学ぶジェンダー入門①男らしさ/女らしさ～社会を覆うジェンダー・ステレオタイプ」を鑑賞し、グループに分かれてディスカッションを行いました。

まずは、性別への固定概念「ジェンダースtereotype」についての説明がありました。「スイーツ男子」を例に挙げ、甘い物を好んで男友達同志でお店に食べに行くことに抵抗感があったり、お菓子作りが上手なことを彼女に知られると嫌われてしまったりするといったストーリーが紹介されました。「男らしさ＝甘いものを好まない」、「女らしさ＝甘いものが好き」という、甘い食べ物にとどまらず、男らしさ・女らしさという固定概念を抱いていないだろうか、という投げかけが映像からありました。



教育現場における「ジェンダートラック」の説明にも共感できる部分が多くありました。名前の順に児童生徒を呼ぶ際、女の子を後回しにして呼んでいないか、教科書やノートを運ぶ係を男の子ばかりに任せていないか、男の子の授業において家庭科を他教科の授業にあてていないか、進路選択において女の子だから大学進学をすすめない説明をしていないかなど、具体的な教育場面を例に挙げて紹介されていました。このような環境が、子ども達の進路選択や生き方に大きな影響を与えるということも学びました。

ジェンダー平等の概念は他にも多くあり、映像の中で多く紹介されていました。その内容を踏まえてグループディスカッションをした際には、相手の意見を尊重することを大切に行いました。ジェンダー平等の概念が社会に浸透してきていますが、映像を見て振り返ると、もっと意識を変えていかなければならないといった意見も上がっていました。



